

会 議 録（要点記録）

会 議 名	第 3 8 期第 7 回小金井市公民館運営審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	令和 8 年 5 月 2 0 日（水）午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 0 5 分		
開 催 場 所	小金井市公民館本館 学習室 B		
出 席 委 員	大坪委員長 福井委員 関委員 嶋田委員 石原委員 池本委員 川上委員 小勝委員		
欠 席 委 員	倉持副委員長 武田委員		
事 務 局 員	鈴木公民館長 諏訪庶務係長 落合事業係長 八方貫井南分館長		
東分館・緑分館・貫井北 事業運営受託者	N P O 法人市民の図書館・公民館こがねい 鈴木東分館長 伊藤貫井北分館長		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0 名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 審議事項 公民館事業の計画について 3 報告事項 (1) 公民館事業の報告について (2) 使用料導入に係る進捗状況について 4 その他 5 閉会 配付資料 資料 1 公民館事業の計画 資料 2 公民館事業の報告		

- 1 開会
- 2 審議事項

公民館事業の計画について

【落合事業係長】

資料掲載はないが、今週末に第４５回公民館本館まつりを実施する。今回は趣旨を凝らし、小金井警察、小金井市消防団、法政大学の現代福祉学部、企画実行委員が各々ブースを設けるなど、集客のための新たな試みをしている。池本委員には実行委員長をお願いしている。ぜひ参加いただきたい。また、先週は貫井南分館のセンターまつりが終了した。来月は緑分館、再来月は東分館で開催する。

次に、資料１をご覧ください。５館１２事業の計画となる。

本館の成人学校「民族衣装から学ぶ 暑さに負けない着こなし術」では、全年齢向けの講座で、文化学園服飾博物館の学芸員の金井先生を招き開催する。

【八方貫井南分館長】

成人学校は大人のレザークラフト体験、市民講座は、「親と実家と私」の２事業で、レザークラフトは、昨年度はミニポーチを作り、応募も多く人気である。作業が細かいため定員が１０名と少なめで、今回はスマホポーチを作成する。

【鈴木東分館長】

７月以降の計画は３本で、成人学校の温泉ぶらり旅のススメでは、現代社会は変化や価値観の多様化、人間関係の希薄化などからの解消法の一つに、温泉で癒やすことをテーマに、年間２００日ほど国内外の温泉を訪ねる研究家の杏林大学温泉療養学の講師の石井宏子先生を招き、温泉の効能、入浴のポイント、温泉旅の楽しみ方などの講座である。

子ども子育て支援講座は、夏休み親子工作教室で、親子が互いに協力してゴム鉄砲を作り、的当ての競技や、講師手作りの創意工夫あるゴム鉄砲で実演を行う。材料費は、ゴム銃１丁当たり５００円となる。

第３９回東センターまつりは、７月４日、５日に実施する。目的として、利用団体が日頃の活動成果の発表と、親睦並びに交流を図る機会、展示部門が７団体、舞台部門が１０団体、そのほか福祉団体などの２団体に参加する。４日にはストラディバリウスのミニコンサートとストリートピアノ・イン公民館、５日は、ボッチャ・イン公民館を実施する。

【伊藤貫井北分館長】

緑分館長欠席のため、緑分館分も含め説明させていただく。

委託事業者独自事業のみどり子ども司書養成講座２０２６～めざせ！キッズ・ライブラリアン～は、委託以降３年目となる。毎回多数抽せんとなっている。実際に図書館で配架を行うなどの体験をしながら司書についてを学ぶ講座で、公民館側では全体の交流を深めるなどのサポートをする。

貫井北分館では、夏休みに小学生等向け講座５本。子ども体験教室は毎年理科実験教室で、今回は視覚、目の錯覚についてをアニメーションを通じて学ぶ講座で、タイ

トルが「やさしく楽しく学ぶ！理科実験アニメーションの不思議」に変更となった。ぱらぱら漫画や、くるくるっと丸い、動かすと動いているような、ソーマトロップ、ゾートロップの現象の身近にある目の錯覚が、実はアニメーションの原点とこのことを、学芸大学准教授の原口るみ先生から教えていただく。各回20人とあるが、施設の関係で16人に変更した。材料費500円は、実際に作った体験アニメを持ち帰る材料費となっている。

世代間交流の推進では、夏休みに学年、学校等のつながりを講座に参加し深めていただく趣旨で、親子折り紙ワークショップは、今年1月と2月に折り紙体験を実施し、その際のアンケートの要望により実施する。

タイルアートでフォトフレームを作ろうは、作品に自分の描いた絵を入れ、作品紹介で交流を深めるもので、材料費は800円である。

革職人たいけん！マルチケースを作ろう！では、貫井南分館でも講座開催の南由紀子先生にお願いし、ミニポーチ的なものを作成する。材料費は革であるため、1,000円と高めになっている。

シール作りワークショップ&シール交換会では、3種類のシールを作り、交換するという最近の流行りの企画である。近隣の公民館でもワークショップを行っている、ハンドメイド作家mimossaというグループを招き、材料費500円で企画している。

【小勝委員】

クラフトの講座の貫井北分館は材料費があるが、貫井南分館はかからないのか。

【八方貫井南分館長】

記載が漏れているので、確認する。

【福井委員】

貫井北分館の夏休み小学生企画は、非常に対応がよかったと思うが、革職人の体験は、裁断のため刃物を使って作業するが、傷害保険の加入について聞きたい。

【落合事業係長】

公民館内等で起こる事故等については、市で傷害保険に入っており適用される。

【大坪委員長】

毎回人気講座である革のイベントの定員10人は、講師の方が10人しか見られないということか、それとも予算によるものか。人気な講座はほかにもあるが、できるだけ学びの参加のため、枠を増やす検討はされているのか。

【八方貫井南分館長】

定員は、担当と講師で打合せにより、細かい作業が多いため、先生からの要望によるもの。

小勝委員からの質問の材料費は2,800円となる。

【落合事業係長】

公民館の事業は、人気事業もそうでない事業も多数やっている。ここが悩みどころで、人気がなくても、広い学習の場として講座を設けていくのかである。

また、革の扱いで鋭利な刃物、ドローンも危険が伴う部分もあるが、講座を開く際には、先生が責任を持ってやっていただいているので、人数の制約はやむを得ない。

【大坪委員長】

人気があるほうがよさそうに思うが、広い学びの機会の提供は、確かにそうである。

【関委員】

関連で、具体的に人気講座のデータの的なものがあるか。体験型、知識型など分類があつて、市民の方がどこに興味を持たれているのか。

【落合事業係長】

以前のドローン講座は2回実施し、最初は30人募集で、約100人の応募があつたが、2回目は同じ定員でも定員割れした。また、テレビで有名な先生であれば、何度でもいっぱいとなるが、動向次第でつかめていない。

【大坪委員長】

日程選定時に、貫井南であれば近隣のお子さん向けイベント実施は、保育園や小学校の夏休みや行事等を加味されているのか。

【落合事業係長】

学校行事や地域の行事はチェックをしているが、子ども向けの事業は、夏休みに人が集まると思われがちだが、実際には、林間学校や塾の夏期講習、帰省、スポーツ少年団と忙しいようである。曜日と時間設定は、ターゲットをある程度絞り込み、高齢者であれば平日の午前中、お子さん向けは土日の午前中、全年齢で比較的若年層では、土日の午後や平日夜間のような形で組んでいる。

【川上委員】

レザークラフトが人気なのは想像できるが、講師の先生も、安全面、難易度が高い講座であれば、一人一人に時間がかかるため人数は妥当である。

少人数で、人気が見込めることがある程度予想のつく講座は、何回か設定し散らす感じでやると、当たらなかった方はうれしいと思う。

【八方貫井南分館長】

人気講座には、落選された方もいるので再度開催したいという思いである。

【大坪委員長】

講師は奉仕的に来てくれていると思うが、折り合いがつけば、また依頼したり、市内で同じような仕事をされている方を探すなどと広げられたらいいのでは。

【小勝委員】

レザークラフトの講座後の出口として、継続するサークル活動はあるのか。

放送大学の話であるが、そこでもレザークラフトや染物、絵画の芸術系、工芸系入門は抽選で人気がある。

【八方貫井南分館長】

講座後に自主的にグループをつくり、講師も招きながら、継続的に公民館を利用し、活動していくことが理想である。これらは、ものづくりに限らずコーラス、絵画や書道でも同じで、その作品や発表の場を、各館でのお祭りにつながればと思う。

【大坪委員長】

同じ講座で一緒に学び、新たな団体として動くという学びの手段で、次につながることはいいことである。

【小勝委員】

この講師の方は、レザークラフトのキットを用意し販売されているようで、それらを活用しながらサークルを運営するのも、一つの手かもしれない。

【大坪委員長】

公民館事業計画について承認ということによろしいか。

(異議なし)

3 報告事項

(1) 公民館事業の報告について

【落合事業係長】

資料2をご覧ください。今回、3館5事業につきまして報告させていただく。その中で、東分館の1事業を説明する。

【鈴木東分館長】

3ページの成人学校「100歳現役 今を生きる」は、昨年誕生日を迎えられた倉橋良子さんを招いた講座である。公民館登録団体の代表であり、現役ですばらしい活動をされている方で、東分館を利用されることから、企画実行委員らからも要望があつての企画となった。気候のいい時期を選び、定員ぴったりの応募があり、最終的には、1名の欠席となった。参加者の感想では、100歳には見えない、元気な姿に感動した、今後の人生の参考にしたいなど好評であった。

【福井委員】

東分館の子ども囲碁教室の生徒は、5年ぐらい前に全国大会で上位に入った等の生徒もいると思うが、最近の状況はいかがか。

緑分館の生活日本語教室は、年間43回開催の受講者延べ人数1,813人で、割り返すと1回当たり平均40名前後の方が参加されている。

5、6年前に参加したときの当時は15名程度で、最近、外国の方が在住され、参加が増えているが、年代構成は把握されているか。また、参加者感想にボランティアスタッフを増やす検討とあるが、常時何名ぐらいで対応し、今後増やしたい人数等を伺いたい。

【鈴木東分館長】

最近の実績は、昨年3年生の児童は日本棋院の3段に昇段し、大人でも負けてしまうレベルである。また、昨年の3月卒業の児童は、韓国に遠征したりとプロを目指しているようだ。

月2回実施で、小学校1年から6年生の20人ぐらいが通っており、負けたくないという意識が根づいている。

【伊藤貫井北分館長】

生活日本語教室では、国籍と名前だけの把握で、年代の聞き取りはしていない。最近の傾向は中国、韓国、インドネシアとアジア圏内が多く、年代は20代、30代の留学生やSE的な就労の方も多いようである。口コミで誘われて参加する状況で、希望者も多く、昨年度は直接来ても定員の関係で断ることがあった。

サークルの組織化はしっかりしているようで、スタッフ募集も規約に同意の方で検討しているようである。登録数は40人ぐらいで、その方々が毎週土曜日に来られている。

【福井委員】

10年前ぐらいに講師として担当したこともあるが、当時は15名ぐらいで、平均年齢は50歳から60歳ぐらいであった。今は若い方が多いようで、このボランティアスタッフの増員を含めて、フォローしていただきたい。

【嶋田委員】

2ページの成人学校のインスタ・X・LINEの講座で、参加者の感想にサポーターを独り占め状態とあるが、講師の本多さん以外のサポーターは、何人ぐらい参加されたか。

4ページの生活日本語教室の参加者感想で、登録学習者が79か国からと幅広い国の方が参加されている。英語が中心になると思うが、対応言語について伺いたい。

【鈴木東分館長】

講師がICTアドバイザーの本多さんのほかには、一緒にやっているサポーターの方は、各回3人で、専門的知識豊富な本多さんに聞きたい方が多かったが、ほかの方も対応していた。

【伊藤貫井北分館長】

事前の問合せは英語や片言の日本語などで、実際の対応は、英語等でのやり取りや翻訳ソフトを使用してのケースもある。

生活のうえで、どう伝えたらよいかがが学習者のスタートで、こういうツールを使え

れば、こういう方法で通じるなどを、教室の中で体験し、周りの生徒もフォローするような形のコミュニケーションも見受けられる。孤立しないように、困ったときの手段を学んでいるというのが実感である。

【大坪委員長】

インスタ・X・LINEの講座参加者は60代以上が占めるが、ちなみに小金井は振り込め詐欺の被害が非常に多く、このようなネットリテラシーを学ぶ機会は大事である。詐欺は多種多様であることから人気があったのではないかと。

(2) 使用料導入に係る進捗状況について

【鈴木公民館長】

月刊こうみんかん6月号の1面に利用者向けの説明会の記事を掲載する。説明会は、6月22日から、各館2回の合計10回予定をしている。内容は、利用のルール、予約時の注意事項、券売機の取扱い方法などとなる。なお、利用の手引きは作成中で、第37期の公運審の提言で、手引き作成の必要性も触れられており、委員の皆様にも示させていただく。

委員も都合がつく時間帯に参加いただきたい。説明会の周知は、月刊こうみんかん6月号のほか、市報6月1日号、市のホームページと団体登録の連絡先宛に個別に連絡メールを配信する。

【大坪委員長】

いよいよ公民館が受益者負担に向けて進んでいくということで、ルール作成の進捗状況はいかがか。

【鈴木公民館長】

細部について調整中である。

【大坪委員長】

発券機に対する意見が出た場合など、大丈夫であるか。

【鈴木公民館長】

議会等でも、券売機に係る費用などについて一定の説明をしたところであり、利用者にもご理解いただけるのではないかなと考えている。10回の説明会で丁寧にやっていきたい。

4 その他

【落合事業係長】

福井委員から、東京都公民館連絡協議会関連の研修会等の日程の質問があった。

現在、使用料の導入等の業務都合で、各部会等への参加は控え、昨年までの役員も辞退している。ただし、研修会や大会等の連絡は入るので適宜伝えていきたい。

なお、再来年の関東甲信越静公民館研究大会は東京大会となり、主催で尽力するため、都公連研究大会はやらない予定とのことである。

【諏訪庶務係長】

今回は、7月22日（水）午前10時から公民館本館学習室Bで開催予定である。

5 閉会

【大坪委員長】

それでは、第38期第7回公運審を閉会とさせていただく。ありがとうございました。

—— 了 ——